



# ニュースレター

Vol. 37 - No. 2  
3月 - 4月 2025

## 最新ソフトバージョン

Central Station 3 Version - 2.5.2 (6)  
Central Station 2 Version - 4.3.0 (11)  
Mobile Station Version - 4.15  
Wireless MS Version - 4.27.0.13

## デジタルコンサルタント

Rick Sinclair  
Curtis Jeung

現在、私たちはロッキーマウンテントレインショーのためにコロラド州デンバーへ旅行中です。タッフと一緒にいった初めてのショーでした。素晴らしいショーで、毎年皆さんにお会いできる

デートの方法について説明し、2番目の記事では、CS2上のレイアウトをCS3に転送する方法に

Ok、正直に言うと、MS WLANが発売されて以来、私はこの話題を避けてきました。私はコン

方法を紹介します。内容はそれほど多くないので、主  
する方法は他にもあるかもしれないことに注意  
AG`WLANはすでに更新されているため、他の方法をテストするこ  
が発表されたら他の方法を検討しますが、とても簡単なの  
で、これが推奨される方法だと思います。

## アップデート手順

私はマニュアルを読むことから始めました。暗記するためではなく、問題が起こったときにマ  
ニュアルの内容を思い出すためにこれをお勧めします。困ったとき、その問題につい  
てどこかで読んだことを思い出すことがよくあります。

まず、携帯電話で接続することにし、マニュアルにMS WLANのIPアドレスが記載されていました。マニュアルには、ルーターや60117 WLAN Boxに接続しなくてもユニットにアクセスできると記載されていました。それだと、Wi-Fiのパスワードや設定を思い出さずに済むことができます。

MS WLANをオンにすると、60117 WLAN Boxではなく、Wi-Fiルーターに接続されました(ネットワーク設定が記憶されていたので、パスワード設定はすでに行っていたようです)。接続すると、settings (->Mobile Station Settings ->WLAN Settings ->Show WLAN)に表示されたIPアドレスを使用して、携帯電話からMS WLANにログインできました。60117 WLAN Boxに接続されていないため、MS WLANは独自のIPアドレスとなります。したがって、この方法で接続すると、マニュアルに記載されているIPアドレスと異なります(図1)。

すぐに、アップデートが必要であることを示す赤い点が表示されます(図2)。歯車アイコンを選択すると設定メニューが表示され、アップデートを開始できます。“Start Update” をタッチすると(図3)、確認を求められます(図4)。

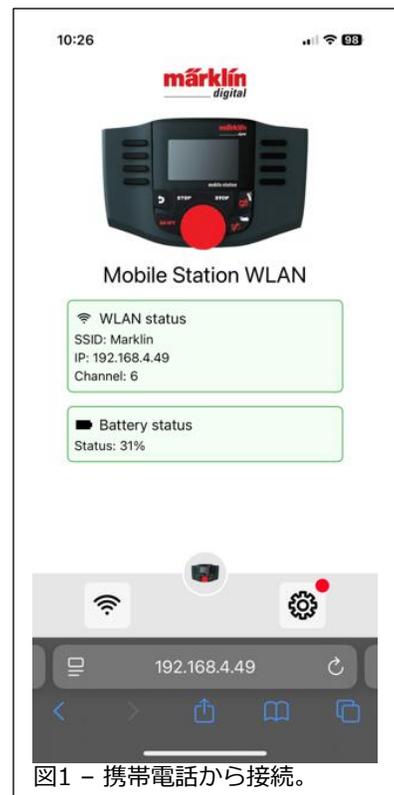


図1 - 携帯電話から接続。

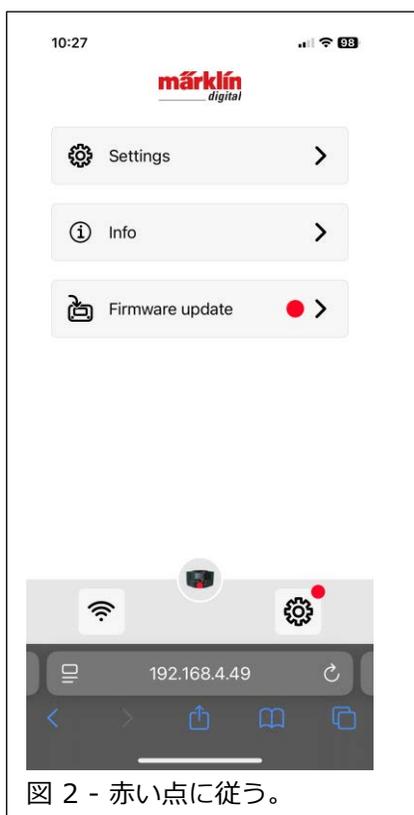


図2 - 赤い点に従う。

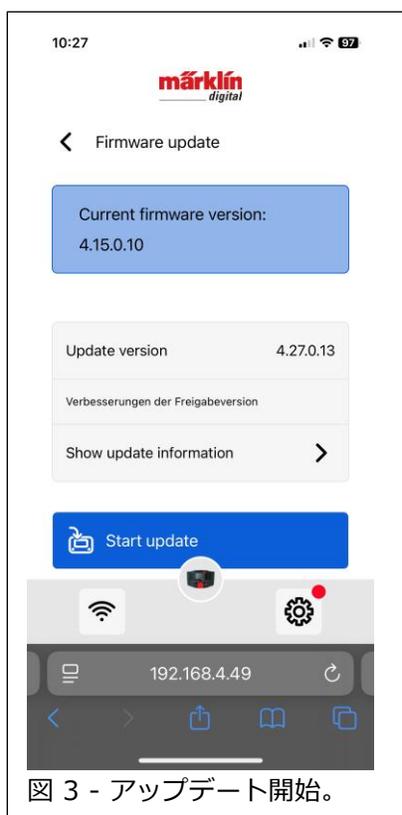


図3 - アップデート開始。

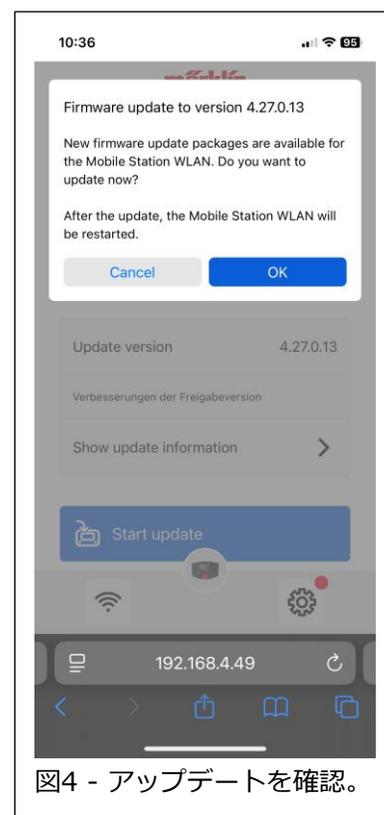


図4 - アップデートを確認。

アップデートが開始されました(図5)。順調に進んでいるように見えたが、“Error Code 1”が表示されました。これは予想していましたが、何が起るか見てみたかったのです。携帯電話に接続したとき、MS WLANのバッテリーレベルが31%であることに気がきました。マニュアルには、アップデートを行うにはバッテリーレベルが少なくとも50%である必要があると記載されています - それでした! (図6)。



新しい電池を探し回ってから、もう一度アップデートを試みたところ、別のエラーメッセージ“Download Error”が表示されました(図7)。このメッセージはマニュアルには記載されていません。電池交換時に接続が一時的に切断されたためかもしれません。そこで、誰でもそうするように、同じ手順を試し、良い結果を期待しました。今回はうまくいき、アップデートが開始されました(図8)。



アップデートが完了し、MS WLANのソフトウェアバージョンが最新であることが確認されました(携帯電話も)。アップデートを数回実行すれば簡単になるでしょうが、アップデートが頻繁に行われないため、手順を覚えるのは難しいです。

**Enjoy Your Hobbies**

**Rick Sinclair**

## CS2からCS3へのレイアウトデータ転送 <part 2>

この記事のパート1(前号)では、CS2保存データをCS3に転送したときの初期状態について説明しました。データのほとんどは操作可能な状態で転送されるため、CS2で制御できるすべての要素を制御できます。ただし、2つのCS間のプログラム上の違いにより、ユーザーが修正する必要があることがあります。

### アクセサリ機器名

CS2では、機器(ポイント、信号機など)はすべて、アドレス順にリスト表示されます。各ページには、アドレス順に機器が16個表示されます(デフォルト)。アドレス表示は短い名前に変更できます。制御したい機器を見つけるには、その機器がどのページにあるかを知っておく必要があります。図1は、CS2の機器リストを示しています。CS3に転送された機器は、元の名前を保持しますが、番号付けされたページには割り当てられなくなります。未使用アドレスが表示されず効率的であるため、これは問題ではありません。CS3は登録された機器のみを表示するため、必要なページだけが表示されます。また、CS2とは異なり、1ページに16を超える機器を表示できます。機器は、機器リストの上部中央にある "Sort(ソート)" プルダウンメニューで並べ替えることもできます(図2)。

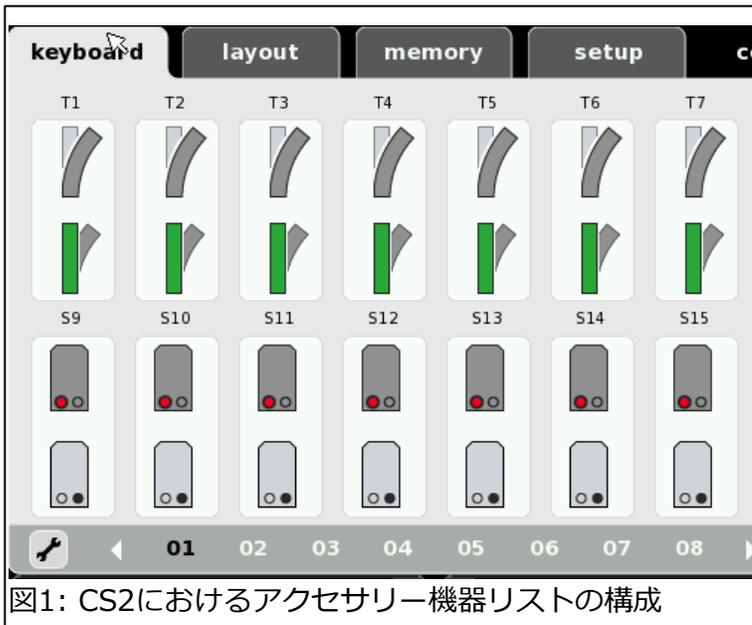


図1: CS2におけるアクセサリ機器リストの構成

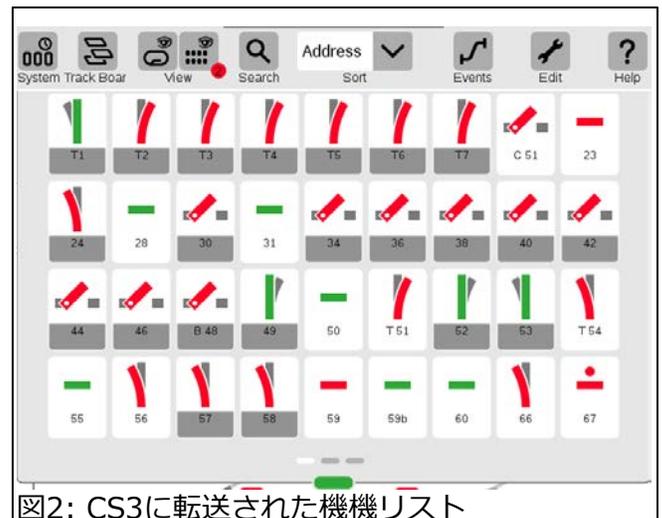
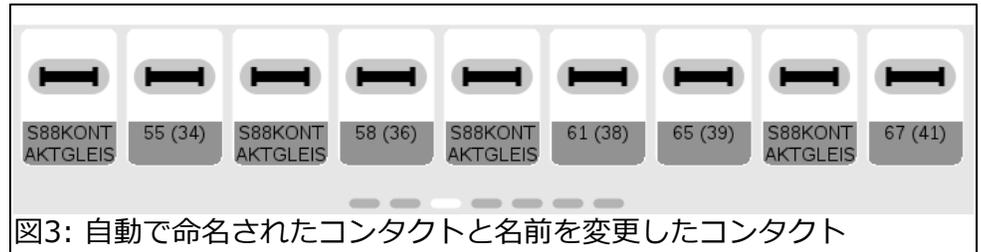


図2: CS3に転送された機器リスト

## S88 コンタクト

イベントに関連する機器(つまり、S88コンタクト)には、最も顕著な変更が加えられます。CS3に転送されたS88コンタクトの名前は、デフォルトの名前("S88KONTAKTGLEIS" 'xx') に書き換えられます。これらの名前は、好みに合わせて変更できますし、変更する必要もあります。最初に、コンタクトの名前を変更して、新しく割り当てられた番号とCS2で割り当てられていた番号を含めることをお勧めします。これは、コンタクトとイベントの一覧を印刷したものとすると便利です。図3は、自動で命名されたコンタクトと名前を変更したコンタクトの混在を示しています。注意点として、自動で命名された名前は非常に長くコンタクト番号が隠れているため、編集するコンタクトを見つけるのに少し探す必要があり、番号順ではない可能性もあります。



CS3では、イベントとCS3内のコンタクトの相関関係が保持されるため、イベントの内容を見ると、S88コンタクトの名前も変更されています。一般に、イベント内のS88コンタクトの名前変更はソフトウェア的に処理されます。コンタクトの物理的構成を考慮して処理される訳ではありません。図4は、インポートされたコンタクトの表示例を示しています。起動コンタクトと条件付きコンタクトの名前が変更されていることがわかります。



図5は、自分で変更したコンタクト名がイベント内に表示されるのを示しています。これは、イベント/メモリの役割を理解するのに役立ちます。この例では、CS2でのイベント名は、センサーの動作記述です。"52d 18on" という名前は、コンタクト18がオン(ハイライト表示)のときに有効となるコンタクト52による出発トリガーイベントを示します。CS3が名前を変更するため、古いコンタクト名と新しいコンタクト名の両方を識別して、正しいイベントと対応させる必要がありました。

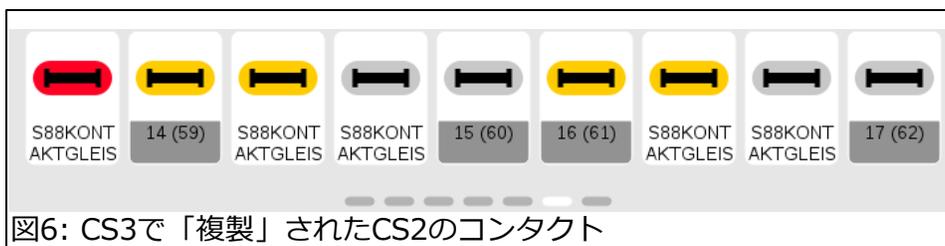


ここから先は、名前をさらに簡略化するかどうかはユーザー次第です。たとえば、コンタクト名をCS3番号のみとし、イベント名をそれに合わせて変更します。これは、将来の混乱(2つの番号のうちどちらが古いか新しいか忘れる)を避けるために望ましい方法です。

## 同一コンタクトの複数配置に注意

CS2では、異なるレイアウトページに同一センサーを複数配置することができました。CS3では、同じアクセサリ機器を複数レイアウトへ配置できません。2つの別々のレイアウト間に、関連付けられない接続ポイントが作成されます(例外は、従来の線図型レイアウトと制御盤型コントロールデスクです。それらは、同じレイアウトに対して表示形式が異なるだけであるからです)。CS2上で2つの異なるレイアウトに存在する1つのセンサーをCS3に転送すると、2つのことが起こります。

1つは、CS3に2つの異なるアドレスを持つ追加のコンタクトが作成されることです(図6を参照)。ペアの1つをクリックすると、もう1つもアクティブになります。図では8つのペアのコンタクトが示されていますが、物理センサーは4つ(8つではありません)しかありません。



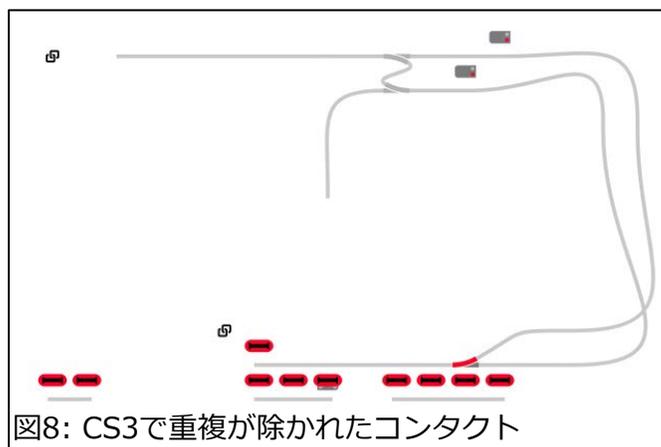
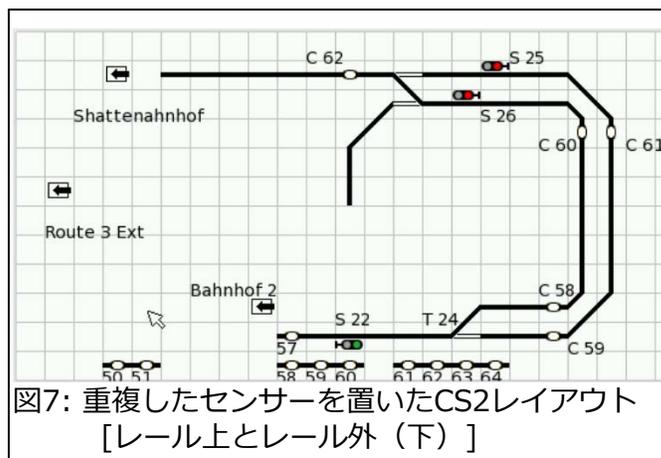
注目すべき2つ目の違いは、同一ページ内の重複センサーのうち1つだけが転送されることです。転送されたレイアウトの1つに空白の目立つレイアウトがあったのは、このためです。CS2では、1つのレイアウトページに同じセンサーを複数置けました(図7)。CS3には、それぞれ1つのみしか転送されませんでした(図8)。

レイアウトに同一コンタクトが複数必要な場合は、回避策が必要になります。1つの解決策は、制御コンタクトを使用することです。図7の例の場合、物理センサーの配置通りにレール上にコンタクトを置き、一番下の行にあるコンタクトは、制御コンタクトにします。残念ながら、転送した結果は上の説明と逆であり、すべてのセンサーを再設定する必要がありました。これについては次の記事で説明します。

## センサーの再割り当て.

CS2では、すべてのセンサーは、古いS88モジュールの標準、つまり「モジュール1: アドレス1-16」、「モジュール2: アドレス1-16」などに従ってアドレス指定されています。CS2のS88接続には、リボンケーブルが使用されます。

CS3でS88仕様は、より優れた接続を利用するために改良されました。リボンケーブルソケットは省略されました。ただし、旧モジュール6088(60880)との下位互換性を保つために、S88 Link(60883)が開発されました。S88 Link(L88と呼ばれることが多い)には、新モジュールの60881・60882用のケーブルソケットと、旧モジュール用のリボンケーブルソケットの両方を装備します。



## L88 バス

2つの異なる接続タイプは、バス番号によってCS3内で識別されます。新S88モジュールの場合はバス1と2、リボンコネクタの場合はバス3です。さらに、L88自体には16個のセンサー入力があります。CS3では、これを 'Direct(直接)' 接続(つまり、バスを経由しない)と呼んでいます。コンタクトセンサーやさまざまなバスと正確に通信するには、CS2から転送したアドレスを書き換える必要があることに気付いていただけたらと思います。

この記事の例では、すべてのセンサーがL88に接続されています。CS3では、機器編集ウィンドウの左上にある 'Device(デバイス)' メニューでこれを判断できます。このプルダウンメニューを変更すると、選択したデバイスに接続されているコンタクトのみが画面に表示されます(図9)。

この設定は、S88編集ウィンドウにある 'switch to(デバイスに割り当てる)' プルダウンメニューを使用して変更できます。これは、図10に示す右下にあります。CS3に接続されたモジュールの履歴によってリストの選択肢が異なります。

## L88 直接接続

最初の16個のS88アドレスは、デフォルトで 'Direct(直接)' (接続)に設定されており、その他はすべて 'Button Matrix(ボタンマトリックス)' に割り当てられています。これらの設定は、下の行に表示される 'Bus(バス)' プルダウンの下にあります (図11 参照)。

このユーザーは旧モジュールのみを使用しているため、すべてのコンタクトをBus3に変更する必要があります。変更後は、モジュールとコンタクト番号の設定(図12)を簡単に設定できます。ただし、設定の正確さを証明するために接続チェックを実行する必要がある場合は、面倒な作業になる可能性があります。このような場合、物理接続表が役立ちます。

可能であれば、L88のアドレスを設定するときにCS2を参照すると便利です。こうすることで、CS2で使用されていたモジュールとコンタクト番号を確認できます。図13にこの例を示しました。コンタクト57はモジュール4-ソケット9に接続されており、これをCS3の 'Track Contact' パネルで設定する必要があります。この情報は、CS2レイアウト編集ページの情報ウィンドウに表示できます。



図9: 表示するデバイスの種類 (左上)



図10: S88入力モジュールの切り替え



図11: バスの再割り当て



図12: Bus3(旧S88)接続コンタクトのモジュールとコンタクト番号の設定

これは、S88の基本的な設定についての説明でもあります。

- Curtis Jeung

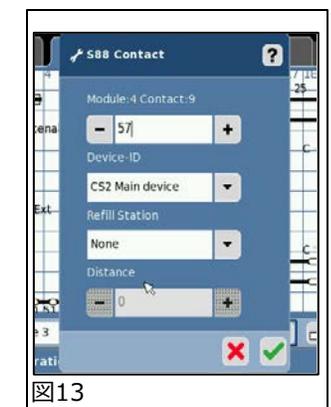


図13

## 次の予定：

- **ONLINE Webinar**  
Wednesday, April 9<sup>th</sup> 2025
- **National Garden RR Convention**  
**Sacramento, California**  
June 20-22, 2025

デジタル、技術、および製品関連について、リックとカーティスに質問するには:

Phone: 650-569-1318 Hours: 8:00am – 5:00pm CT. Monday through Friday.

E-mail: [digital@marklin.com](mailto:digital@marklin.com)